

# 田無スクールプラン2024

## 令和6年度 東京都立田無特別支援学校 学校経営計画(概要)



チーム田無の構築

魅力ある学校

### ☆学習指導の充実

(教員の専門性・授業力の向上と、学力の向上)

- 1 教室等教育環境(学びの場)の整備 個に応じた教育環境(構造化等)の充実
- 2 生徒の的確な実態の把握(外部専門員の指導・助言等)
- 3 生徒の学びの質を高める授業改善(全教員の1回以上の公開研究授業)  
・外部専門員の授業アドバイス⇒主任教諭・教諭等の育成
- 4 「自立活動」の研究・研修の充実
- 5 ICTI機器を活用した分かりやすい指導の推進、情報教育の充実
- 6 充実した図書館等を活用した読書活動・言語活動の推進

### ☆キャリア教育・職業教育の推進

- 1 自立と社会参加に必要な力を育む教育を推進
- 2 生徒の「生きる力」「働く力」「豊かな人間性」を身に付ける教育の推進
- 3 生徒の「学力」「体力」の向上を目指す教育の推進
- 4 アセスメントを活用した進路指導
- 5 外部専門員を活用した作業学習の充実
- 6 企業と連携した進路指導の充実(生徒の現場実習、教員・保護者の研修)
- 7 福祉就労又は企業就労を希望する生徒の就労100%
- 8 企業就労率の向上(30%)

### 令和6年度 最重点目標

全ての生徒たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現

キャリア教育とは・・・子供たちが、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育成する教育

#### 1 基礎・基本の徹底

#### 2 学習指導要領を踏まえた「カリキュラム・マネジメント」の推進

#### 3 キャリア教育の充実 生徒の「自立と社会参加」の実現

- ①自立活動の充実 ②ヨガ・呼吸法など心と体を整える取組みの推進 ③生徒指導の充実 ④学習指導の充実 ⑤研究・研修の充実  
⑥外部専門員の活用 ⑦情報教育(デジタル教育、教育DX)の充実 ⑧職業教育の充実

#### 4 アセスメント等の活用(学習指導や進路指導の充実)

#### 5 教育環境(学びの場)の整備

#### 6 安心・安全な学校(感染症対策、防災教育等)

### ☆生活指導・安全教育(生徒指導等と防災教育)の充実

- 1 学校生活や家庭生活での課題や変化を素早い発見と校内支援委員会での課題解決
- 2 指導上課題がある生徒への迅速な対応(校内支援委員会、外部専門委員の活用)
- 3 生徒が集団を意識し、規律正しく行動及び活動できる教育の推進
- 4 危機管理計画等緊急時マニュアル、BCPの整備と訓練時の活用
- 5 安心・安全なスクールバスの運行

### ☆健康の保持・増進に向けた指導の充実

- 1 教員、保護者、医療(学校医、主治医等)、福祉、地域関係機関との密接な連携
- 2 インフルエンザや新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- 3 高等部生徒の「性に関する指導」「歯科指導」「肥満指導」等の充実
- 4 食物アレルギーの対応の強化

### ☆地域支援・地域貢献とセンター的機能充実

- 1 地域のニーズを踏まえた地域理解、地域連携、地域貢献活動の推進(作業学習等)
- 2 地域の高等学校と連携・交流及び生徒の社会性を身の育成
- 3 地域の高等学校と支援エリアネットワークの構築 高等学校に在籍する発達障害のある生徒への積極的な支援
- 4 協働的な学びの環境の構築(西東京市、田無駅前商業施設、地域の学校等)

### ☆部活動の充実

- 1 生徒の健康の保持増進、体力の向上
- 2 生徒の主体性を育成及び、音楽等芸術活動やスポーツの技能の向上
- 3 挨拶を行い、ルールとマナーを守ることができる態度、仲間意識及び集団意識、協調性、思いやる気持ちなどの育成

### ☆学校行事の充実

- 1 生徒の健康状況を把握した安全な学校行事の実施
- 2 生徒が主体的・意欲的に活動できる学校行事の推進(儀式的行事、体育祭、文化祭、校外学習、宿泊行事等)
- 3 生徒の主体的な集団活動の推進

## 学校経営の4本の柱 "BOSS"

Base 基礎・基本(学校事務業務・教育活動) Open 開かれた学校、情報発信、地域貢献 Safety 安心・安全・信頼 Special education 特別支援教育

教職員の適正な職務の遂行  
(学校内外において)

人権教育  
(いじめや体罰等の根絶)

感染症対策の徹底

学校事故未然防止  
(安心・安全教育)

防災対策・防災教育  
(安心・安全教育)

主体的に活動できる教育環境(教室等)の整備、校舎の老朽化対策  
校内の美化対策(清潔感のある校内:学校施設、教室、準備室等)

教育職員・行政系職員のライフ・ワーク・バランス